

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業		担当課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間
	施策	適正な行財政運営の推進		種別
	基本事業	計画行政の推進		市民協働
予算科目コード		01-020107-13 単独	根拠法令・条例等	まち・ひと・しごと創生法，守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口ビジョン実現に向けて効果の高い施策を集中的に実施するための戦略を策定することが各自治体に義務付けられたため、平成27～31年度を期間とする「守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第1期)」(以下、「総合戦略」)を策定し事業を実施してきた。第1期の計画期間終了に伴い、総合戦略を改定する。	「守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改定支援業務を業務委託により実施する。 業務委託では、これまでの総合戦略に基づく事業の実施状況を取りまとめ、総合計画審議会やまち・ひと・しごと創生総合戦略推進会において、事業の評価や分析を行うための支援業務を実施する。 それらの結果を踏まえ、必要に応じてニーズ調査を実施するなど、地方創生に向けて継続して実施すべき事業、重点的に取り組むべき事業等を検証し、総合戦略の改定を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
人口ビジョンで描いた将来展望を実現するため、総合戦略に基づく事業を実施し、「『住まう』まち（住み続けることができるまち）・守谷」を実現させる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
計画的に質の高い行政事務を進める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度の実績（評価、課題への対応）
・変更された計画の指標に従って、令和元年度の実績値と令和元年度までの各分野の取組状況を各課に確認し、取組状況と成果の関連性について評価・検証を行ったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響をどの程度考慮すべきかが課題である。 ・KPI設定について、アウトプットだけでなく、アウトカムまで評価できるかという視点で検討されているかが課題である。	・変更された計画の指標に従って、令和2年度の実績値と令和2年度までの各分野の取組状況を各課に確認し、取組状況と成果の関連性について評価・検証を行った。 ・令和3年度は第三次守谷市総合計画に包含するかたちで、第2期総合戦略を作成した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
目標値を達成した成果指標・KPIの割合（全34指標値）（％）	0.00	26.40	29.40	29.40	32.35	26.47	0.00
KPI（重要実績評価指標）の現状値が順調に進捗している事業の割合（全34指標値）（％）	0.00	38.20	41.10	44.10	38.24	26.47	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	・達成指標及び順調に推移している指標は34項目中9項目で前年度よりは低下している。新型コロナウイルス感染症によりKPIに影響が出たほか、KPIを測るための調査が中止又は延期されたことが大きい。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☐ 改善・効率化 ☒ 統合 ☐ 廃止・終了	・令和3年度までの計画延長は、もともと総合計画との統合を予定してのものであったため、令和4年度には総合計画の中に統合された総合戦略の推進を行っていく。今後、総合計画の事務事業に統合することも検討する。					

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	2,815	30	70	87	87
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,815	30	70	87	87
正職員人工数（時間数）		602.00	392.00	239.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,470	1,587	925	0	0
トータルコスト		5,285	1,617	995	87	87

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		委託バス運行調整事務	担当課	管財課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間	平成21年度～
	施策	適正な行財政運営の推進	種別	任意的事務
	基本事業	計画行政の推進	市民協働	
予算科目コード		01-020104-05 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 民間業者と年間契約を行い、公用のバス利用について各課から申請を受け付け、民間業者と連絡調整を行い、バスを運行する。
公用で運行する必要があるバスについて、平成21年度に市有バスを廃止したことに伴い、民間業者への委託運行を開始したため。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
民間業者に委託することにより、安全性の向上や維持管理経費の削減を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
計画的に質の高い行政事務を進める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
バスの利用申請は、申請する担当課が運行行程を精査し管財課に提出しているので、バス事業者との運行調整などが効率的に行えている。	特になし。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
特になし。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度の実績（評価、課題への対応）
	各課からの申請受付の際に、事業内容や運行時間等の審査を行い、市主催の事業等が円滑に進められるよう委託バス事業者との事務調整を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
大型バスの1台当たりの使用単価（円）	52,981.00	72,066.00	70,807.00	71,989.00	76,230.00	77,536.00	72,066.00
小型バスの1台当たりの使用単価（円）	38,590.00	46,080.00	45,518.00	48,973.00	45,974.00	50,004.00	46,080.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	各課からのバス利用申請に基づいて委託事業者と調整することにより、市主催事業等でのバス利用が適切に行える。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	委託バスについては、市主催事業等のための事業であり、大人数の移動については、バス運行が効率的であることから継続することが必要な事業である。					

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	5,277	1,132	1,143	5,816	5,816
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,277	1,132	1,143	5,816	5,816
正職員人工数（時間数）		52.00	64.00	70.00	70.00	70.00
正職員人件費		213	259	271	0	0
トータルコスト		5,490	1,391	1,414	5,816	5,816